

小麦づくり情報 10月号

村山総合支庁 農業技術普及課

適期播種に向けて、計画的に準備を進めましょう。

10月20日までに播種を終了し、根雪前に生育量を確保しましょう！

1 排水対策・圃場準備

- ・小麦は湿害に弱いため、**播種前の排水対策が不可欠**です。圃場周辺には必ず明渠を掘りましょう。明渠の深さは**40cm程度**を目安とし、確実に排水口につなぎましょう。
- ・排水不良圃場では、本暗渠に加え、サブソイラ施工等で排水性を高めましょう。
- ・耕起・整地は丁寧に行い、**碎土率（直径2cm以下の土塊の割合）70%以上**を目標とし出芽率の向上及び生育の均一化に努めましょう。

2 土づくり・施肥

- ・小麦は酸性に弱い作物です。**pH6.0～6.8**を目標に、苦土石灰や炭カル等を**80～120kg/10a程度**施用し、土壌pHを適正化しましょう。
- ・**堆肥の連年施用は収量性を高めます。**
10a当たり1t程度を施用しましょう。

【基肥量の目安】

播種様式	基肥量 (kg/10a)		
	N	P	K
ドリル播種	10	10	10

※播種が適期より遅れる場合には、
基準基肥量に各 5kg/10a 増肥する。

3 適期播種

- ・**播種適期は10月上旬**です。晩限の10月20日までに播種を終えるように計画を立てましょう。
- ・播種が遅れると分けつの発生が少なくなり、**穂数が不足して収量が減少**するほか、品質評価項目の1つである**容積重の増減にも影響**します。
- ・**播種深は2～3cm**としますが、土壌が乾燥している場合は**やや深く**、**過湿ぎみ**の場合は**やや浅く**播種しましょう。

【播種量の目安】

播種様式	播種量 (kg/10a)	播種深 (cm)
ドリル播種	10～12	2～3

※播種が適期より1週間程度遅れる場合は
播種量を15kg/10a増量する。

4 病害・雑草防除

- ・主要病害である裸黒穂病を防ぐため、種子消毒を行いましょう。
- ・播種後は速やかに**除草剤（土壌処理剤）**を散布し、雑草の発生を防ぎましょう。

秋季農作業事故防止運動強化期間 9月1日～10月31日
声をかけあい、助けあい、作業事故0へ！機械の点検整備を万全に！